

ハロウィン と サンクスギビングデー

今日は、アメリカのカレンダーにある2つの日について紹介します。

ハロウィン

10月31日は、「ハロウィン」です。箕面小学校の皆さんも、「ハロウィン」という言葉を聞いたことがあると思います。英語の時間にハロウィンについて学習したことでしょ。

ハロウィンはいつごろ、どこではじまった？

昔、アイルランドに住んでいた人たちの大晦日（暦では、10月31日）に行われたお祭りがはじまりとされています。

新しい年と長い冬を迎えるために、その年の収穫をお祝いし、悪魔や悪いものを追い払うお祭りをしていました。なぜ、お祭りをしていたかという、その日には、死者の魂や悪い者たちが地上へ降りてきて、人間に悪さをすると考えられていたからです。

なぜハロウィンの色は黒とオレンジなの？

黒は夜、オレンジはかぼちゃを意味しています。

お菓子をもらうとき、英語でどう言えばいいの？

子供 : Trick or treat, trick or treat!

大人 : Here you are.

子供 : Thank you.

大人 : You're welcome.

子供 : Happy Halloween !

大人 : Happy Halloween !



シカゴ日本人学校の1年生が作った
ジャコランタン

なぜカボチャ（ジャコランタン）を飾るの？

これには、ジャックという男の子のお話があります。むかしむかし、ジャックという男の子がいました。とてもいじわるで、好き嫌いばかりし、うそつきで、人の嫌がることばかりをし、

自分勝手に生きていました。

そんなわがままジャックにも、とうとう、死ぬ時がやってきました。ジャックの魂が、天国の入り口にたどりついた時、天使たちは口々に言いました。『ジャックを天国に入れてはだめ！』

しかたなくジャックは地獄の入り口に向かいます。地獄の鬼たちは、大声で言いました。『ジャックを地獄に入れてはだめ！』

どこにも入れてもらえないジャックの魂は、ふらふらと、今でも、行きつく先を探しています。真っ暗な夜の闇を、ランタンの光だけをたよりに、さまよい、歩きつづけています。



このさまようジャックが、手にもっているのが、カブ畑で盗んだカブの中身をくりぬき、石炭の火をともして作ったランプ。カブのなかったアメリカでは、ジャックのランタンを作るのに、かぼちゃを代わりに使って、作りました。ですから、今では、かぼちゃのほうが、有名になっているのです。



サンクスギビングデイ (感謝祭)

11月第4木曜日はサンクスギビングデイです。今年は11月27日(木)です。

サンクスギビングデイってなに？

サンクスギビングデイの日は、普段は離れている家族も、全員が一つの家に集まり、一緒にごはんを食べながら「収穫の恵みを感謝する日」です。



サンクスギビングデイはいつごろ、どこではじまったの？

イギリスからアメリカに移り住んだピルグリムが、アメリカでの初めての収穫を神に感謝し、冬を無事に越すためにたくさんの方を教えたアメリカン・インディアンを招待してパーティ

一を行ったことが由来とされています。

1960年、メイフラワー号はイギリスを出発し、2ヵ月間の苦しい航海の末にアメリカに到着します。しかしその時のアメリカは厳しい冬。ほとんど食べ物もなく、たくさんの仲間を失いました。

そんなピルグリムを助けてくれたのが先住民のアメリカン・インディアン。彼らの知恵のおかげでピルグリムたちは次の冬を越せるだけの食料を得ることができたのです。

アメリカン・インディアンに感謝を捧げるため、ピルグリムたちは彼らを招待し、丸3日間のパーティーを行いました。長いテーブルに七面鳥や野菜が並べられ、感謝の祈りが捧げられました。そしてピルグリムとアメリカン・インディアンたちが一緒に歌ったり踊ったりしました。これがアメリカの感謝祭のはじまりとされています。

サンクスギビングデイに何をしますか？

家族や友人が集まっておなかいっぱいごちそうを食べたり、テレビでアメリカンフットボールを観戦したり、ショッピングを楽しんだりします。

感謝祭の食べ物と言えば七面鳥の丸焼きです。クランベリーソースや、グレービーソースをかけて食べます。



切り分けた七面鳥とグレービーソース



クランベリーソース

ハロウィンは、日本のお盆に似ていますね。

世界には、たくさんの祝日やお祝いがあります。日本以外の国の歴史や文化を、箕面小学校のみなさんに、たくさん興味を持ってほしいと思います。